

<自主的努力項目記入書式>

提携先	株式会社 新生わたらい茶	記入日	2009/9/24
登録消費材名	新茶・一番茶上煎茶・一番茶煎茶・二番茶煎茶・番茶・玄米茶・粉末茶入玄米茶・ほうじ茶・一番茶刈下ほうじ茶・水出し煎茶		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

・作業能力向上、省力化に向けた、大型乗用摘採機用茶園への整備。 今後も、引き続き整備拡大の継続。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

・伊勢茶リフレッシュ運動（農業振興対策）にて、改植を実施。
・農林水産省、農機リース補助事業にて3生産者が効率化を図るため大型乗用摘採機を購入。
(上記2点は、わたらい茶生産グループにて情報収集し生産者窓口となり対応)

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

・衛生管理面において、ほうじ茶での異物混入のクレームが昨年度を上回る発生率である。ハード、ソフトそれぞれの面での対応の見直しが急務であり、荒茶工場段階から生産者も含め異物混入を防ぐ対策を見直し実施する。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	株式会社 新生わたらい茶	記入日	2009/10/12
登録消費材名	有機抹茶 早春の香		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

- ・品質システムの構築
- ・有機栽培茶の生産強化
- ・細部にわたるトレーサビリティシステムの構築
- ・有機栽培茶の生産段階での品質アップ
- ・製品安全性の確認（残留農薬検査の実施）

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

・ISO9001の審査登録の継続
・ISO22000に向けての取組み
・2007年、有機JAS認証に加え、NOP（米国統一基準）の認証を取得
・2008年、AIB(American Institute of Baking)フードセーフティの監査で、最高評価（Superior）を受けた

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

- ・ISO22000食品安全システムの構築
- ・ISO9001品質システムのレベルアップによるクレームの撲滅
- ・環境保全への取組み